

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-234068

(43)Date of publication of application : 02.09.1998

(51)Int.Cl. H04Q 7/16
 H04Q 7/14
 H04M 1/57
 H04M 11/00
 // H04B 1/04

(21)Application number : 09-035110 (71)Applicant : SONY CORP

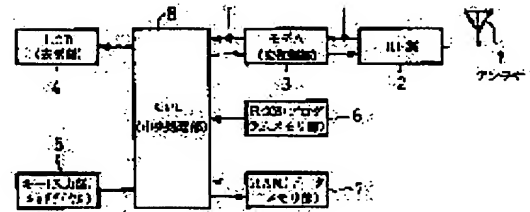
(22)Date of filing : 19.02.1997 (72)Inventor : KAWADA SHIGERU

(54) PORTABLE CHARACTER INFORMATION TRANSMITTER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain the transmitter that receives character information and transmits it simply to a reception terminal equipment corresponding to a caller ID by registering contents of destination information and transmission character information, selecting optional destination and transmission character information from the information and transmitting contents of the selected destination and transmission character information via a channel network.

SOLUTION: Prior to transmission, a sender operates a key 5 to enter a name of a destination, a telephone number and a message or the like to a RAM 7 having a telephone directory function and a message registration function. The names, the telephone numbers and the message contents registered in the RAM 7 are displayed on a display section LCD 4 and objective information is retrieved by vertically scrolling the displayed contents through the use of a jog dial. A CPU 8 retrieves the names, the telephone numbers and the message contents registered in advance in the RAM 7 as a message registration means and displays them on the LCD 4 being a display means. The transmitter selects character information and transmits it in the case that the user cannot leave a conference or the like.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection]

or application converted registration]
[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]
[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-234068

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月2日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	F I	
H 0 4 Q 7/16		H 0 4 B 7/26	1 0 3 J
7/14		H 0 4 M 1/57	
H 0 4 M 1/57		11/00	3 0 3
11/00	3 0 3	H 0 4 B 1/04	Z
// H 0 4 B 1/04		7/26	1 0 3 F
審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 7 頁)			

(21) 出願番号 特願平9-35110

(22) 出願日 平成9年(1997) 2月19日

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 川田 繁

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会社内

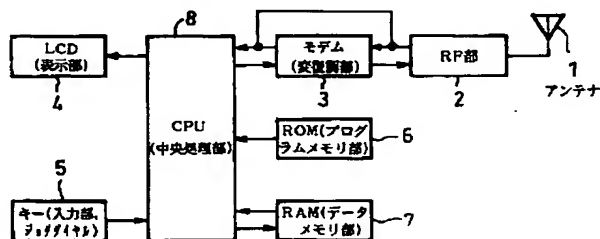
(74) 代理人 弁理士 松隈 秀盛

(54) 【発明の名称】 携帯文字情報送出装置

(57) 【要約】

【課題】 文字情報を入力して簡単にコーラー I D 対応受信端末に伝送することができる携帯文字情報送出装置を提供することを目的とするものである。

【解決手段】 携帯文字情報送出装置は、入力手段としてのキー5と、入力された送信先の情報を登録する R A M 7 の電話帳領域と、入力された送信文字情報の内容を登録する R A M 7 の伝言登録領域と、電話帳領域および伝言登録領域に登録された送信先および送信文字情報の内容から任意の送信先および送信文字情報を選択するジョグダイヤルおよび C P U 8 と、選択された送信先および送信文字情報の内容を回線網を介して発信者番号通知サービスを用いて送出するモデム3および R F 部2とを備えたものである。



本実施の形態の携帯文字情報送出装置の構成を示すブロック図

【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報を入力する入力手段と、

上記入力手段により入力された送信先の情報を登録する第1の登録手段と、

上記入力手段により入力された送信文字情報の内容を登録する第2の登録手段と、

上記第1の登録手段および上記第2の登録手段に登録された送信先および送信文字情報の内容から任意の送信先および送信文字情報の内容を選択する選択手段と、

上記選択手段により選択された上記送信先および送信文字情報の内容を回線網を介して発信者番号通知サービスを用いて送出する送出手段と、

を備えたことを特徴とする携帯文字情報送出装置。

【請求項2】 請求項1記載の携帯文字情報送出装置において、

上記第1の登録手段に登録された送信先の情報は、相手先の名前と電話番号であり、

上記第2の登録手段に登録された送信文字情報の内容は、プッシュボタントーン信号に変換できる伝言メッセージであることを特徴とする携帯文字情報送出装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えば発信者番号通知サービス（コーラーIDサービス）に用いて好適な携帯文字情報送出装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、海外ではアメリカ、カナダにおいて、日本においても一部地域で実験的に、コーラーID（Caller ID）サービスと呼ばれるサービスが行われている。コーラーIDサービスは、受信側端末の所定の表示部において、発信者の電話番号などを表示したりして受信者側に通知するサービスである。

【0003】 このようなコーラーIDサービスにより得られる発信者番号通知を利用して、相手先の電話番号を、かかってきた電話に出る前に確認することができるので、受信者側の意志により電話を受けるかどうかの判断をするために有益である。

【0004】 また、従来から、簡単な定形文からなる文字情報を伝送する場合等に受信側でページャー等を用いて文字情報の受信が行われていた。この場合、送信側では電話機と無線呼び出し中央局および基地局を経由してプッシュホンまたはプッシュ信号の送出可能な電話機で発信されるPB（プッシュボタン）トーンにより入力されたメッセージ信号を送出することにより文字情報を伝送するようにして、受信側では送信機能を有していないページャーを使用して文字情報を受信していた。

【0005】 また、PBトーンをスピーカから発音可能なダイヤラーと呼ばれる装置を用いて、ダイヤラーのスピーカを電話機のマイクに近づけてPBトーンを入力することによりPBトーンに対応したメッセージ信号を送

出して、受信側では同様にページャーを使用して文字情報を受信することも可能であった。

【0006】 また、携帯電話やPHS（パーソナル・ハンディフォン・システム）を改造して用いて、上述した文字情報の送受信を行うようにすることも可能である。この場合、無線呼び出し方式において重要な技術である特定の信号部分のみを受信可能にする間欠受信状態にするための回路構成が必要となる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、文字情報の伝送をコーラーIDサービスを有効に用いて行う技術が存在しなかったため、これらを有効利用することができなかったという不都合があった。また、文字情報の伝送には簡単な定形文を伝送する際にも必ず電話機が必要であり、受信ページャーは存在するが簡易な送信ページャーがなかったため不便であったという不都合があった。また、携帯電話やPHSを改造して文字情報の送受信を行う場合にも間欠受信状態にするための回路構成が必要となるため装置が大型化するという不都合があった。

【0008】 本発明はこのような点を考慮し、文字情報を入力して簡単にコーラーID対応受信端末に伝送することができる携帯文字情報送出装置を提供することを目的とするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】 この発明の携帯文字情報送出装置は、情報を入力する入力手段と、上記入力手段により入力された送信先の情報を登録する第1の登録手段と、上記入力手段により入力された送信文字情報の内容を登録する第2の登録手段と、上記第1の登録手段および上記第2の登録手段に登録された送信先および送信文字情報の内容から任意の送信先および送信文字情報の内容を選択する選択手段と、上記選択手段により選択された上記送信先および送信文字情報の内容を回線網を介して発信者番号通知サービスを用いて送出する送出手段と、を備えたものである。

【0010】 このような携帯文字情報送出装置によれば以下の作用をする。送信に先立って、入力手段により、送信先の名前や電話番号、および伝言等を、第1の登録手段および第2の登録手段に登録しておく。第1の登録手段および第2の登録手段に登録された名前と電話番号および伝言内容から選択手段を用いて検索を行う。まず、選択手段により第1の登録手段に登録された名前と電話番号が選択される。次に、選択手段により第2の登録手段に登録された伝言が選択される。

【0011】 送出手段は、回線が空いているか否かを判断する。回線が空いていれば、送信手段は、通信開始動作に入る。この送信時には、相手先との回線リンクが確立すると伝送メッセージが連続した文字コードに変換される。また、文字コードに対応したPBトーンのデジタルデータが生成される。送信手段は、伝言等を、基地

局との回線リンクが確立した後に送出する。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照しながら本発明の一実施の形態について説明する。図1において、本実施の形態の携帯文字情報送出装置は、回線網に文字情報を送出するアンテナ1と、文字情報を通信のために高周波増幅するRF部2と、通信のための変調および復調を行うモデム(変復調部)3と、文字情報を表示するLCD(表示部)4と、各種設定を入力するキー(入力部、ジョグダイヤル)5と、動作プログラムを格納するROM(プログラムメモリ部)6と、制御データやフラグを格納するRAM(データメモリ部)7と、各部の動作を制御するCPU(中央処理部)8とを有する。

【0013】モデム(変復調部)3は、RF部2を介して、相手の端末のモデムとの間でコマンドを送信または受信して、データに変調または復調を施す機能を有する。この変調は、周波数シフト変調FSK(フレクシー・シフト・キーイング)方式で行う。FSKは、データ"1"を周波数"2100Hz"に対応させて、データ"0"を周波数"2400Hz"に対応させて行う。通信プロトコルは、モデムフォンのプロトコルと同様であり、ボーレート1200ボー(1秒間に1200ビットの転送レート)で行う。モデム(変復調部)3とRF部2とで送出手段を構成する。

【0014】LCD(表示部)5は、この例では、特に、送信先の名前と電話番号及び文字情報を表示する機能を有する。

【0015】RAM(データメモリ部)7は、この例では、特に、伝言メッセージを示す文字情報および相手先の名前、電話番号をメモリに格納する。この場合、例えば、図3に示すように、電話帳領域10に名前および電話番号を格納して、伝言登録領域11に伝言メッセージを示す文字情報を格納するようにする。このようにメモリに格納することにより、検索を容易にすることができる。RAM7は、電話帳機能および伝言登録機能を実現するための記憶手段を構成する。RAM7は、電話帳機能として600人分の名前および電話番号を記憶するための記憶容量を有する。また、RAM7は、伝言登録機能として各種伝言設定モードに対応するように、数字表示のメッセージの文字対応表や、定型、フリーの各種伝言モードのデータ入力および変換のための記憶容量を有する。電話帳領域10は第1の登録手段を構成し、伝言登録領域11は第2の登録手段を構成する。

【0016】キー(入力部、ジョグダイヤル)5のキーにより伝言メッセージを示す文字情報および相手先の名前、電話番号の入力が行われ、ジョグダイヤルによりRAM7に格納された文字情報および名前、電話番号を検索する操作のための指示等が行われ、送出キーにより発信が行われる。キー(入力部、ジョグダイヤル)5は、情報を入力する入力手段を構成する。

【0017】図4に携帯文字情報送出装置の外観図を示す。図4中上部において、携帯文字情報送出装置は、電話番号や伝言等を表示するLCD(表示部)4と、LCD(表示部)4に表示された表示内容を上下方向にスクロールさせるジョグダイヤル20と、上下左右にカーソルを移動させるカーソルキー21と、電話番号および伝言等を送出させる送出キー22と、電話帳機能および伝言登録機能とを切り替えるモードキー23とを有する。LCD(表示部)4は、最大入力可能文字数を表示できる表示領域を有する。モードキー23は、1回押すと電話帳機能選択モードとなり、2回押すと伝言登録機能選択モードとなる。ジョグダイヤル20とCPU8とで選択手段を構成する。

【0018】また、図4中下部において、携帯文字情報送出装置は、電源電圧の投入または電源電圧の遮断により入力情報のクリアを行う電源キー24と、定型、フリー、数字の各種伝言モードを設定する伝言設定キー25と、0~9までの数字と、カナ、アルファベット、*、#等の文字を入力可能な入力キー26と、RAM(データメモリ部)7に伝言等を登録する登録キー、カナ、英文字、数字の入力切り替えを行う入力切り替えキーと、入力されたデータの間に他のデータを挿入させる挿入キーと、入力されたデータからあるデータを削除させる削除キーとからなる編集キー27とを有する。

【0019】ここで、メッセージの種類について説明する。まず、数字表示は、上述した伝言設定キー25の数字キーにより数字伝言モードを選択したとき、0~9までの数字および#、*からなる特殊記号の送信が可能なサービスであり、1回に送信できる文字数は最大12文字である。メッセージの入力には、プッシュホンまたはプッシュ信号の送出可能な上述した入力キー26を用いる。受信機において、数字列を受信した場合に、定型文に置き換える機能を有する。数字2桁の組み合わせでカナ、アルファベット、記号など1文字を表現し、約100種類のフリーワード機能を有する。

【0020】例えば、図3に数字表示のメッセージの文字対応表を示す。図3において、縦および横の0~9、#、*に対応する位置にカナ、アルファベット、記号などが配置されている。この場合、数字2桁の組み合わせで1文字を表現することができるので、最大12文字を表現するためには24桁の数字を入力する。

【0021】また、定型文表示は、上述した伝言設定キー25の定型キーにより定型伝言モードを選択したとき、数字表示に加えて、予め決められた定型文、組み合わせ文、イラストなどを特殊コードで送信可能なサービスである。メッセージの入力は、数字表示と同様、プッシュホンまたはプッシュ信号の送出可能な上述した入力キー26を用いる。定型文は事業者側で予め用意されたものと、利用者が作成するものがあるが、いずれの場合も特殊コードとメッセージの対応を発信者側が知っている。

る必要がある。このため、通常はグループ利用が主となる。

【0022】また、自由文（フリー）表示は、上述した伝言設定キー25のフリーキーによりフリー伝言モードを選択したとき、漢字、かな混じりの文章の送信が可能サービスであり、1回に送信できる文字数は最大36文字である。発信者が自由文受信機を呼び出す場合、通常はプッシュホンまたはプッシュ信号の送出可能な上述した入力キー26を用いてメッセージを入力する。また、通信機能を有するパソコンなどからの入力も可能である。このような各種メッセージ表示を上述した伝言設定キー25で選択することができる。

【0023】また、この他に、トーンオンリー（T/O）は、呼び出しのみのサービスであり、受信機で呼び出し音、サイレント呼び出し（光またはバイブレータ）などを切り替えられるものもある。また、1台の受信機に2つの呼び出し番号を与え、発信者を区別できるデュアルコールサービスも提供されている。

【0024】送信前には、CPU8は、予め伝言登録手段に伝言等を登録する機能を有する。また、CPU8は、伝言登録手段に予め登録されている伝言等を検索してこの伝言等を読み出して表示手段に表示させる機能を有する。

【0025】また、送信時には、CPU8は、表示手段に表示させた伝言等を、基地局との回線リンクが確立した後に送出する機能を有する。また、CPU8は、相手先との回線リンクが確立すると伝送メッセージを連続した文字コードに変換する機能を有する。また、CPU8は、文字コードに対応したPBトーンのデジタルデータを生成する機能を有する。

【0026】また、着信信号は、リンガーが2秒、同期信号およびコーラーIDが2秒、リンガーが2秒、・・・のようにリンガーと同期信号およびコーラーIDとが2秒毎に繰り返すように構成されている。また、コーラーIDは、数キャラクタの名前、10桁の電話番号およびオプションより構成されている。この場合、伝送メッセージ（PBトーン信号）はコーラーIDのオプション部領域に含めるようにしても良い。

【0027】また、着信時には、相手先の電話端末装置は、コーラーID対応自動メッセージ受信機能を有する。相手先の電話端末装置は、予め携帯文字情報送出装置からの着信であることをコーラーIDの電話番号の情報から識別すると自動着信を行う機能を有する。

【0028】回線リンク確立後には、相手先の電話端末装置は、携帯文字情報送出装置からの伝送メッセージ（PBトーン信号）を受信し、文字情報へ逆変換する機能を有する。また、相手先の電話端末装置は、文字情報を表示部に表示させたり登録部へ登録させる機能を有する。

【0029】このように構成された本実施例の電話端末

装置は以下の動作をする。まず、携帯文字情報送出装置からの送信時の動作について説明する。送信に先立って、送信者は、電話帳機能および伝言登録機能として、キー5を操作して、相手先の名前や電話番号、および伝言等を、RAM7に登録しておく。

【0030】特に、モードキー23を1回押して電話帳機能選択モードとして、入力キー26を用いて相手先の名前および電話番号を入力し、編集キー27の登録キーを用いて入力した名前および電話番号をメモリに格納する。また、モードキー23を2回押して伝言登録機能選択モードとして、入力キー26を用いて伝言メッセージを示す文字情報を入力し、登録キーを用いて入力した伝言をRAM7に格納する。

【0031】例えば、相手先が「自宅」で、伝言の内容が「6時帰宅」などを登録しておく。この場合、例えば、図2に示すように、電話帳領域10に名前および電話番号を格納して、伝言登録領域11に伝言メッセージを示す文字情報を格納するようにする。このようにRAM7に格納することにより、検索を容易にすることができる。

【0032】この送信前には、CPU8は、上述のように入力された名前や電話番号および伝言を予め伝言登録手段としてのRAM7に登録する。

【0033】RAM7に登録された名前と電話番号および伝言内容をLCD（表示部）4に表示させて、ジョグダイヤル20を用いて表示内容を上下方向にスクロールさせることにより検索を行う。この場合、モードキー23により電話帳モードが選択されているときに、ジョグダイヤル20を操作するとRAM7に登録された名前と電話番号が読み出されてLCD（表示部）4に表示される。また、モードキー23により伝言登録モードが選択されているときに、ジョグダイヤル20を操作するとRAM7に登録された伝言が読み出されてLCD（表示部）4に表示される。

【0034】また、CPU8は、伝言登録手段としてのRAM7に予め登録されている名前や電話番号および伝言を検索して、この伝言等を読み出して表示手段としてのLCD4に表示させる。この場合、選択された内容を確定するときは、例えば、ジョグダイヤル20を押すようにして確定させてもよい。

【0035】電話帳モードでジョグダイヤル20により選択されてLCD（表示部）4に表示された名前や電話番号と、伝言登録モードでジョグダイヤル20により選択されてLCD（表示部）4に表示された伝言とにより送出を行う場合には、送出キー22を押す。

【0036】送出キー22が押されると、モデム3は、回線が空いているか否かをCPU8に通知する。回線が空いていれば、モデム3は、通信開始動作に入る。

【0037】この送信時には、CPU8は、相手先との回線リンクが確立すると伝送メッセージを連続した文字

コードに変換する。また、CPU8は、文字コードに対応したPBトーンのデジタルデータを生成する。CPU8は、表示手段としてのLCD4に表示させた伝言等を、基地局との回線リンクが確立した後に送出する。

【0038】モデム3は、周波数シフト変調FSK方式で変調を行う。FSK方式の変調により、PBトーンのデジタルデータ"1"を周波数"2100Hz"に対応させて、PBトーンのデジタルデータ"0"を周波数"2400Hz"に対応するように変調を行う。通信プロトコルは、モデムフォンのプロトコルと同様であり、ボーレート1200ボーの転送レートで行う。1秒間に1200ビット転送される。モデム3から供給されたPBトーンのデジタルデータはRF部2により通信のために高周波増幅されてアンテナ1から送信される。

【0039】次に、受信時の動作について説明する。受信側の電話端末装置も図1に示した送信側と同様の構成を有する。

【0040】受信時には、受信側の電話端末装置は回線を介して相手からのリンガーを受けたときにCPU8に対してリンガーの受信を報告して、CPU8からのステータス信号を受けることにより、CPU8が受信可能状態か否かを判断する。CPU8が受信可能状態であるとき、RF部2はリンガーの後に続く同期信号およびコーラーIDをモデム3に供給する。モデム3は、同期信号から所定時間後に続くコーラーIDを検出してCPU8に供給する。この場合の、伝送メッセージ(PBトーン信号)はコーラーIDのオプション部領域に含めるようにしても良い。このとき、モデム3は、周波数シフト復調FSK方式で復調を行う。このように受信側の電話端末装置は、コーラーIDに対応して自動的にメッセージを受信する。

【0041】CPU8は、コーラーIDの電話番号を認識して、自動着信する。このように電話端末装置は、予め携帯文字情報送出装置からの着信であることをコーラーIDの電話番号の情報から識別すると自動着信を行う。CPU8は、受信された伝送メッセージ(PBトーン信号)を文字情報へ逆変換する。この逆変換には、送信側で用いた図3に示したと同様の数字表示のメッセージの文字対応表を用いて行う。逆変換された文字情報はLCD4に表示されると共にRAM7に登録される。回線リンク確立後には、この電話端末装置は、携帯文字情報送出装置からの伝送メッセージ(PBトーン信号)を受信し、文字情報へ逆変換する。また、この電話端末装置は、文字情報を表示部としてのLCD4に表示させたり登録部としてのRAM7へ登録させる。

【0042】検索モードの場合には、RAM7のデータメモリ部に格納されている文字情報の中から検索する。検索動作は、まず、RAM7のデータメモリ部の図2に示す電話帳領域10を検索することにより行われる。電話帳領域10に格納されている電話番号と名前が検索さ

れたときは、この番号に対応する伝言登録領域11の文字情報を読み出す。このように、検索を2段階に分けて行うので、検索時間を短くすることができる。

【0043】読み出された文字情報による伝言は電話番号と名前と共にLCD4に表示される。この表示を見ることにより、受信者は発信者および伝言内容を視覚的に即座に認識することができるので、電話に出なくても伝言内容を判断をすることができる。モデム3でコーラーIDを検出することにより、CPU8は送信相手が携帯文字情報送出装置であることが認識できるので、これにより、CPU8はPBトーン信号を文字情報に変換することにより、文字情報をLCD4に自動的に表示したり、またはRAM7に自動的に登録することができる。

【0044】上例では、受信側の電話端末装置は、図1に示した携帯文字情報送出装置と同様の構成である例を示したが、コーラーIDに対応して自動的にメッセージを受信する機能を有する電話端末装置であれば何でも良く、ページャーや携帯電話やPHSでも良い。このような携帯文字情報送出装置により、送信ページャを構成することができ、受信ページャと併せて用いることにより、通信エリアには一定の制限があるが、いつでも、どこでも手軽に文字情報が送信または受信できることが可能となった。また、上例に限らず、コーラーIDサービスで使用するコーラーID部領域内に文字情報を含めると共に、送信手段および受信手段を有する電話端末装置を構成するようにしても良い。

【0045】本実施の形態の携帯文字情報送出装置は、情報を入力する入力手段としてのキー5と、入力手段としてのキー5により入力された送信先の情報を登録する第1の登録手段としてのRAM7の電話帳領域10と、入力手段としてのキー5により入力された送信文字情報の内容を登録する第2の登録手段としてのRAM7の伝言登録領域11と、第1の登録手段としてのRAM7の電話帳領域10および第2の登録手段としてのRAM7の伝言登録領域11に登録された送信先および送信文字情報の内容から任意の送信先および送信文字情報の内容を選択する選択手段としてのジョグダイヤル20およびCPU8と、選択手段としてのジョグダイヤル20およびCPU8により選択された送信先および送信文字情報の内容を回線網を介して発信者番号通知サービスを用いて送出する送出手段としてのモデム3およびRF部2と、を備えたので、例えば、会議中での緊急連絡が必要であるが席を外せないときや、耳や声が不自由な人が音声による情報伝達ができないときに文字情報を選択して送出することができ、しかも秘話性を保って情報伝達をすることができ、これにより送信ページャを構成することができ、携帯電話やPHSよりもさらに小型化を可能にすることができる。

【0046】また、本実施の形態の携帯文字情報送出装置は、上述において、第1の登録手段としてのRAM7

の電話帳領域10に登録された送信先の情報は、相手先の名前と電話番号であり、第2の登録手段としてのRAM7の伝言登録領域11に登録された送信文字情報の内容は、プッシュボタントーン信号に変換できる伝言メッセージであるので、第1の登録手段としてのRAM7の電話帳領域10に相手先の名前と電話番号を登録し、第2の登録手段としてのRAM7の伝言登録領域11にプッシュボタントーン信号に変換できる伝言メッセージを登録することにより、登録された相手先の名前と電話番号および伝言メッセージを読み出して、固定入力された伝言メッセージをプッシュボタントーン信号に変換して、相手先へ送出することができる。

【0047】

【発明の効果】この発明の携帯文字情報送出装置は、情報を入力する入力手段と、上記入力手段により入力された送信先の情報を登録する第1の登録手段と、上記入力手段により入力された送信文字情報の内容を登録する第2の登録手段と、上記第1の登録手段および上記第2の登録手段に登録された送信先および送信文字情報の内容から任意の送信先および送信文字情報の内容を選択する選択手段と、上記選択手段により選択された上記送信先および送信文字情報の内容を回線網を介して発信者番号通知サービスを用いて送出する送出手段と、を備えたので、例えば、会議中での緊急連絡が必要であるが席を外せないときや、耳や声が不自由な人が音声による情報伝達ができないときに文字情報を選択して送出することができ、しかも秘話性を保って情報伝達をすることができ、これにより送信ページを構成することができ、携帯電話やHPSよりもさらに小型化を可能にすることができるという効果を奏する。

【0048】また、この発明の携帯文字情報送出装置は、上述において、上記第1の登録手段に登録された送信先の情報は、相手先の名前と電話番号であり、上記第2の登録手段に登録された送信文字情報の内容は、プッシュボタントーン信号に変換できる伝言メッセージであるので、第1の登録手段に相手先の名前と電話番号を登録し、第2の登録手段にプッシュボタントーン信号に変換できる伝言メッセージを登録することにより、登録された相手先の名前と電話番号および伝言メッセージを読み出して、固定入力された伝言メッセージをプッシュボタントーン信号に変換して、相手先へ送出することができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施の形態の携帯文字情報送出装置の構成を示すブロック図である。

【図2】この発明の一実施の形態のRAMのデータ格納領域を示す図である。

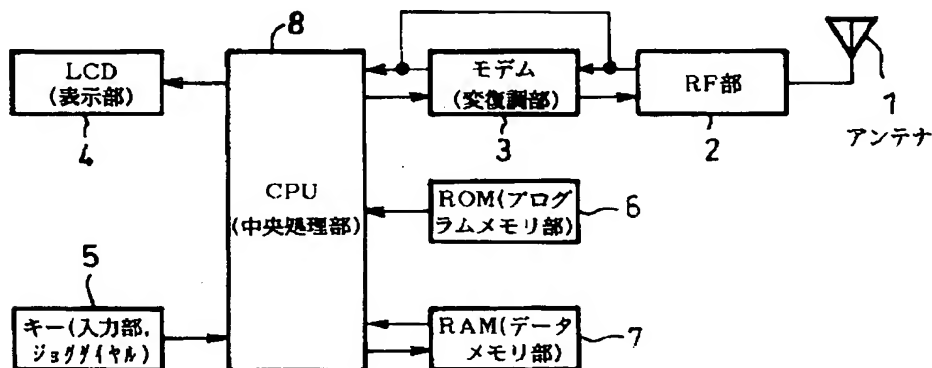
【図3】この発明の一実施の形態の数字表示のメッセージの文字対応表を示す図である。

【図4】この発明の一実施の形態の携帯文字情報送出装置の外観図である。

【符号の説明】

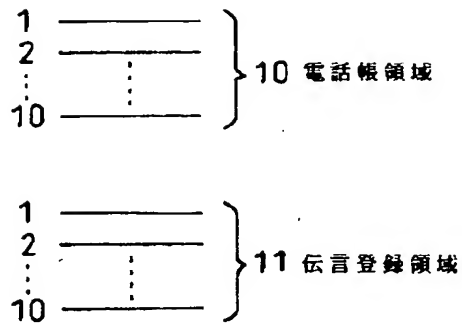
1 アンテナ、2 RF部、3 モデム（変復調部）、4 LCD（表示部）、5 キー（入力部、ジョグダイヤル）、6 ROM（プログラムメモリ部）、7 RAM（データメモリ部）、8 CPU（中央処理部）、10 電話帳領域、11 伝言登録領域、20 ジョグダイヤル、21 カーソルキー、22 送出キー、23 モードキー、24 電源キー、25 伝言設定キー、26 入力キー、27 編集キー

【図1】



本実施の形態の携帯文字情報送出装置の構成を示すブロック図

【図2】



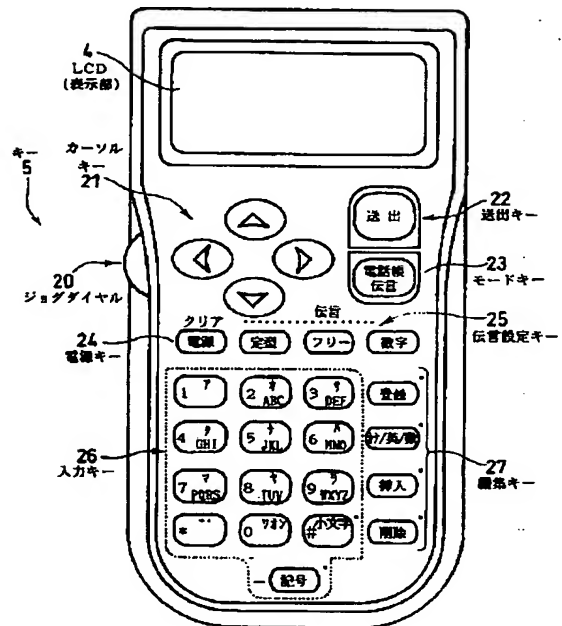
本実施の形態のRAMのデータ格納領域を示す図

【図3】

0	1	2	-----	9	#	*
1	ア	サ	-----			
2	イ	シ	-----			
:	:	:				
9	ク	ツ	-----			
#	ケ	テ	-----			
*	コ	ト	-----			

本実施の形態の数字表示のメッセージの文字対応表

【図4】



本実施の形態の携帯文字情報送受信装置の外観図